

刀根山高校後援会だより 第2号

㊦ ありがとうございます ㊦

一筆啓上

後援会会長

神船 庄司

六本木ヒルズ族の二つの会社に司直の手がはいりました。ともに東大出身の「タカ」と「ヨシ」。一方は大学時代から、もう一方は小学生の時から、大金を手にしたときの魔力にとりつかれ、ついには検察の厳しい取調べの身となりました。昔から、若い者に大金を持たすと口くなくはない、といわれています。東大出身なら賢いことから、法令順守はいとたやすいことと思われませんが、彼らは

自分の考えに自ら舞い上がってしまい、その脇のあまさが命取りとなりました。刀根山高校は今年三十周年をむかえます。今年で発足二十七年目の後援会は大金とは無縁ですが、会員の皆様の善意を無にすることのないよう、役員間で協議し学校側の意向もよく伺って、皆様からお預かりした会費が学校の支援に役立つように、常に主体性を保ちながら活動していきたいと考えています。

㊦ バスツアーのお礼 ㊦

四月八日、2006年度の後援会バスツアーは下記にご報告いたしました通り、無事楽しく終了できました。皆様のご協力に感謝致します。来年度も是非多くの方が参加してくださいませようお待ちしております。

㊦ 新入会のお礼 ㊦

本年度は、四月初めに校長先生より「新入生の保護者の皆様への後援会入会の呼びかけをしてください」との要請

がありました。それを受けて

入学式で会長より後援会の趣旨説明と入会をお願いを行い入会申込書を配布しました。五月末の振込み締切で約80名の方々に入会していただきました。

役員会としては、この動きを歓迎しており、来年度以降は従来どおりの体制で入会手続きができるよう学校側とも話し合っていきたいと思っています。入会ありがとうございます。

三十周年に積立金提出

㊦

本年は刀根山高校創立30周年を迎えます。式典などは在校生中心の行事となりますが、後援会としても、PTA・同窓会とともに積極的に学校をバックアップしていききたいと考えております。来る七月の後援会総会で皆様のご承認が得られれば、記念事業積立金の中から百万円を学校に拠出することになります。学校の発展と生徒達の健やかなる成長に役立ててほしいと思います。

✿ 姫路城のお花見

四月八日午前8時40分、バスは定刻通り螢池を出発しました。学校側より岩井教頭先生も参加されて総勢は33名、窓外の新緑や山ツツジ、桜を愛でつつ中国道を走ります。毎日がいかに自然と切り離された慌ただしい日々であるかを感じ知らされながら身も心も解放され車内で自己紹介やおしゃべりを楽しみました。10時30分姫路城到着。きれいな桜！満開です。天守に映えてそれは美しい桜です。入口近くでまずは記念撮影。その後天守閣エリアに入城しました。

天守閣に登る人、特別公開の化粧櫓を見学する人、開催中の花見茶会に参加する人とゆっくりお城を楽しみました。ただ、この日は黄砂がひどく視界がきかなくて瀬戸内海遠望は出来ませんでした。お昼は書写山麓の観光旅館「上山」で会席膳をいただき、昼食後は歓談、入浴、美術館見学など各自旧交を暖めつつ自由にお過ごししました。帰路は加西市の兵庫県立フラワーセンターに寄り、広々とした園内でベコニアやチューリップに見とれました。楽しい一日でした。



編集後記

今年桜の開花と天気予報が気になった年はありませんでした。折りの甲斐あって穏やかな花見日和。定刻通りのバス発着に刀根山は子供もいけど親もよいと感心しきり。